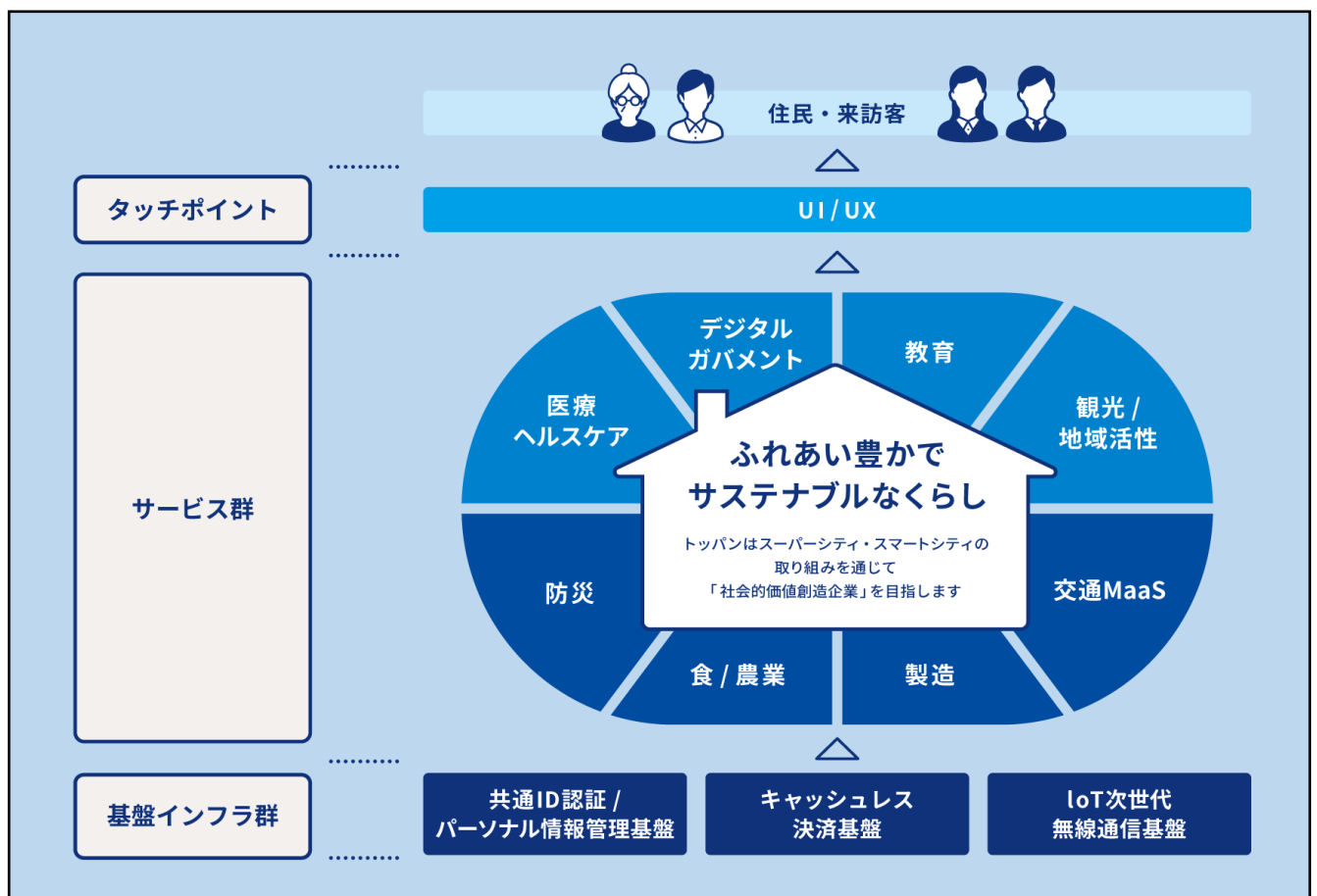


2021年4月19日
凸版印刷株式会社

凸版印刷、スーパーシティの実現に向けて 10 自治体と連携
デジタル行政、ヘルスケア、次世代無線通信などの領域において
「スーパーシティ型国家戦略特区」を目指す 10 自治体の連携事業者を選定

凸版印刷株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:磨 秀晴、以下 凸版印刷)は、これまでスマートシティの実現に向けた取り組みを通じて、ふれあい豊かでサステナブルな暮らしに貢献する「社会的価値創造企業」を目指し、事業活動を推進してきました。

このたび凸版印刷は、デジタル行政、ヘルスケア、次世代無線通信などの領域においてスーパーシティの実現に向け「スーパーシティ型国家戦略特区」を目指す 10 自治体(会津若松市、茅野市、つくば市、愛知県・常滑市、浜松市、前橋市、鎌倉市、仙台市、高松市、松本市)の連携事業者を選定されました。



トッパンのスマートシティビジネス領域

■ 背景

凸版印刷はこれまで、スマートシティの実現に向け、ふれあい豊かでサステナブルな暮らしに貢献する「社会的価値創造企業」を目指し、行政業務の効率化や住民の便利で豊かな暮らしの実現に取り組んできました。具体的な取り組み例として、福島県会津若松市の ICT オフィス「スマートシティ AiCT」内に「会津若松サテライトオフィス」を設立し、ICT・IoT を活用した社会課題の解決とスマートシティの実現に貢献する新たなデジタルソリューションの開発に取り組んでいます。また「柏の葉スマートシティコンソーシアム」に所属し、データ連携プラットフォーム「スマートライフパス柏の葉」における「ID 認証サービス」を提供しています。

このたび、凸版印刷の課題分析力や複数の次世代技術を総合的に組み合わせ、課題解決を図る設計力、ICT 技術に加え印刷会社ならではのコンテンツ力、BPO 事業で培ってきた先進的なセキュリティ技術が評価され、「スーパーシティ型国家戦略特区」を目指す 10 自治体の連携事業者に選定されました。

※スーパーシティを目指すうえでの連携事業者であり、実際の事業実装業者としてはまだ連携候補となります。

■ 連携する自治体の概要(※市町村名順)

- ・福島県会津若松市
連携候補事業： 教育事業、食・農業事業
- ・長野県茅野市
連携候補事業： 人と人の「ゆい」:地域経済と地域コミュニティの活性化
- ・茨城県つくば市
連携候補事業： つくばスーパーサイエンスシティ 行政サービス
- ・愛知県・常滑市
連携候補事業： 未来を先取りする移動・物流システム、すべての人々に満足を届ける最先端おもてなしサービス、人口減少社会にふさわしい人に優しい社会の実現
- ・静岡県浜松市
連携候補事業： 次世代行政情報サービス
- ・群馬県前橋市
連携候補事業： 教育事業、行政事業

<その他の連携自治体>

- ・神奈川県鎌倉市
- ・宮城県仙台市
- ・香川県高松市
- ・長野県松本市

■ 今後の目標

凸版印刷は今後、連携を開始した自治体においてスーパーシティ・スマートシティの実現に貢献し、その実績を起点に、全国の自治体に実装可能な汎用サービスとして展開を目指します。

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上